

事業所名



## 支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念		安心して過ごせる居場所を提供し、他者との社会性や協調性を育てていく。 様々な成功体験を積み重ね、こころも身体も成長できるプログラムを通して一人ひとりの「自己肯定感」や「強み」を高める。					
支援方針		個々の気持ちや個性を最も大切に、常識にとらわれず子どもたちと信頼関係を築くことを重視して支援する。 個別の支援計画に基づき、様々な活動を通じてコミュニケーション力や社会性を育て、成功体験を重ねることで自信や自己肯定感を育てていく。 子どもたちが自分らしく成長できる居場所を提供していく。					
営業時間		10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	一日のスケジュールの中で、基本的な生活スキルの獲得や生活習慣を形成していく。 健康な心と体を育て、健康で安全な生活を保障し支援していく。					
	運動・感覚	粗大運動、体軸・体幹トレーニングを通じて日常生活に必要な基本となる動作や姿勢保持などの習得や強化を図っていく。 感覚の特性（過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚に対する環境調整等の支援をする。					
	認知・行動	【視覚動作トレーニング、微細運動、買い物体験】 こだわりや苦手意識など特性を理解し、それらを踏まえて環境や状況などの情報的確な判断や行動につなげることができるように支援する。 個別やグループなど専門的支援を実施しながら色や形、数や文字などの認識、空間や時間などの概念形成を支援していく。					
	言語 コミュニケーション	異年齢での集団生活、日直や当番活動を通じて話し言葉や相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなどできるよう支援する。 特性や興味、関心に応じて言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りなど必要な能力を身につけることができるよう支援していく。					
	人間関係 社会性	自由時間での異年齢の関わり（一人遊びから模倣へ・模倣から並行遊びへ・並行遊びから集団遊びへ）により人や環境に対する安心感や信頼感を育てていく。 様々な活動を通じて、自分のできることや苦手なことを理解して自分を肯定的に捉えることができるように支援していく。					
家族支援		子育てに関する困りごとや、こどもの発達上のニーズについての支援 保護者同士の交流の機会（不定期開催） 家族の就労や預かりニーズに対応するための延長支援		移行支援		ライフステージの切替えを見据えた移行に向けた調整や移行先との共有 インクルージョンの観点から施設交流や買い物体験など地域社会への参加	
地域支援・地域連携		学校や児童クラブを含めた関係機関と連携した支援 必要に応じて、こども家庭支援センターとの情報連携、また個別のケース 検討のための会議参加		職員の質の向上		オンラインを含む外部研修への参加 資格取得に向けた研修参加への補助 新たなガイドライン、安全対策などに応じた社内勉強会	
主な行事等		春の桜まつり、夏まつり、農業体験（野菜づくり）、老人ホーム交流（ハロウィン交流）、年賀状作り、季節のクッキング、 初詣、講師を招いての特別プログラム（バランスボール、キッズドローンファイト、キッズヨガ など）					